

# 教育研究所通信

発行：都城市教育研究所  
第2号 令和5年6月20日

教育研究所では、どんなことを研究しているのですか？



## ■ 研究主題・副題（令和4・5・6年度） ■

子どもたちの未来に向かい、学ぶ意欲を高め、確かな学力の向上を目指す授業の創造  
～ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの工夫～

- 学習指導要領の趣旨と本年度の教育研究所の理念を踏まえ、1人1台端末・高速通信環境により、子どもが主体的・対話的で深い学びを図ることに視点をあてた授業改善を目指しています。特に本年度は、単元縦断型と教科横断型による学習の充実に重点を置いています。また、1人1台端末・高速通信環境を活かした小・小連携、中・中連携によるリモート授業を行うためのサポート等の研究にも取り組んでいます。本年度3回目までの所員研究会では、子どもが主役となる授業を目指して、子どもがどのように学び方を身に付けていけばよいのか等、課題を整理しているところです。



研究は、いつ、どこで、どのように行なわれているのですか？

## ■ 所員研究会について ■

- (1) 時間・回数等・・・5月から2月の木曜日18時～20時に月2回程度年間20回実施しています。
- (2) 会場・・・都城市役所南別館3・4階研修室、PC室で実施しています。
- (3) 内容・・・簡潔なレポートを準備して協議を行ない、共通理解しながら進めていきます。
  - ① 全体会Ⅰ（10分）：所長講話、目的・日程確認、諸連絡
  - ② 部会・班会（100分）12名がそれぞれ部会と班会に分かれて協議を深めます。
    - 部会・・・研究部会（6名）、研修部会（3名）、編集部会（3名）
    - 班会・・・国語科班（小2名、中2名） 算数・数学科班（小2名、中2名）、ICT班（小3名、中1名）
  - ③ 全体会Ⅱ（10分）：当日の協議内容の報告等
- (4) Google work space を活用した効率的な情報交換・・・所員間の報告・連絡・相談に活用します。

## ■ 働き方改革等の観点からの改善点 ■

- (1) 宮崎県教育研究機関連絡協議会・・・令和4年度をもって発展的に解消  
【理由】 ICTの普及により、研究に関する情報の入手等が、発表大会によらず、より効率的でコストのかからない選択肢が生まれ、また、教育現場の「働き方改革」も課題となる中、人的・時間的負担の解消を図るため。
  - (2) 現旧所員会（OB会）・・・令和4年度をもって発展的に解消  
【理由】 近年、参加を希望されるOBは非常に少なく、働き方改革等の社会情勢や価値観の変化に伴い、企画を担当する研究所員の人的・時間的負担の解消を図るため。
- ※ 以上の2点を解消したことから、研究所員が研究活動に専念する時間的なゆとりが生じています。

### 【都城市教育研究所OBの皆様へ】

本市教育研究所OBの皆様には、これまで永きにわたり本市の教育の推進に寄与していただき、ありがとうございました。上記のとおり、現旧所員会は、発展的に解消することになりました。今後は、教育研究所だより、教育研究所通信、都城市教育研究所HP等で情報発信に更に力を入れてまいりますので、ご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

### 本通信についてのお問合せ

■ 都城市教育研究所 市役所南別館3階 電話：23-7167（所長直通） 23-9544（学校教育課） ■